

多世代がともに住み集う快適なまち

広報長浜まちなか

令和3年(2021年)

8月1日発行

発行：長浜地区地域づくり連合会
〒526-0037 長浜市高田町 12-34
長浜まちづくりセンター内
(さざなみタウン)
TEL・FAX 64-2753

米川をみんなが遊べる水辺の公園に

「みんなの協力で楽しい遊び場をつくろう」。これをコンセプトの一つとして、一昨年から「米川・かわまちづくり」事業を始めています。

米川は、まちなかの各家の裏側を流れ、本流と支流に分かれて琵琶湖へ注いでいます。橋の上から見る水の流れや石垣、しっとりとした家並みは、とても魅力のある風景です。でも道路が表なら、米川は裏側というイメージ。

これまでから、米川をきれいにしようとか、ホテルなど、いろいろな生きものが棲む川にしようといった活動は続けられてきました。

「米川・かわまちづくり」は、さらに、米川を表側に出して、みんなが楽しく遊べる水辺の公園にしようという取り組みです。

公共の場は、ともすれば維持管理を行政に任せっぱなしになりがちです。でも、本来、公園は私たちが少しずつ分担し合い、知恵を出し合って使いやすく作り替え、そして責任を持って子どもやお年寄りを見守り、快適に利用していく場所であるはずです。

米川を、子どもから若者、お年寄りまで、誰もが集う「みんなの公園」にしていくために「米川・かわまちづくり」をみんなで進めていきましょう。



滋賀県立大学生の米川フィールドワーク(6月21日)

曳山博物館周辺で米川まつり

滋賀県立大学・湖北の暮らし案内所どんどん・曳山博物館・長浜バイオ大学・地元商店街など、いろいろな人たちの協力で水辺で遊ぶおまつりを開きます。

とき **8月8日**(日) 午後3～8時(雨天中止)
ところ 曳山博物館～どんどん橋一帯(参加無料)

◆曳山博物館横の米川

- ①米川クイズ～川を歩いてクイズに挑戦(定員：親子50組)
15:00～16:30 正解して景品をゲット
- ②ヨーヨー流し(定員：親子30組)
16:30～18:00 ヨーヨーすくってお持ち帰り
- ③手づくり水鉄砲で遊ぼう(小学生以上40名)
17:00～18:30 的当て・風車回しなど

◆どんどん橋付近の米川

- ④親子で川床で涼もう
15:00～17:00 川床に乗ってプカプカ
- ⑤灯ろう流し(定員：20名)
18:30～20:00 御堂前山蔵から大手橋へ

◆曳山博物館内

- ⑥博物館で遊ぼう
15:00～20:00 クイズラリー・生き物探し
- ⑦サイエンスカフェ
15:00～18:00 水槽で魚観察・微生物観察など
- ⑧米川まつりダイジェスト
19:00～20:00 建物壁面にイベント映写

まつりの詳細な内容や申込方法(①～③、⑤は事前申込必要)などは、[連合会ホームページ](#)でご確認ください。

ともに魅力あるまちづくりを



辻正明会長

長浜地区は「曳山まつり」の町として広く内外に知られています。ユネスコ無形文化遺産に登録され、ますます注目度は高まっています。この歴史と文化を築いてきたのは、「町衆の心意気」です。

私たちもこの伝統を心のよりどころとして、町への誇りと愛着を持ち、子どもや高齢者を見守り、誰もが住んで良かったことを実感できる「多世代共生の快適なまち」をともに目指しましょう。

コロナ禍を乗り越え取り組みを



西川嘉一委員長

企画常任委員会

7月3日に、えきまちテラス前のデッキで花いっぱい事業を実施しました。今後は、連合自治会や単位自治会の連携、米川にフォーカスしたかわまちづくり、空き家活用、さらにはスポーツ交流、高齢者サロン、話咲交流事業、子ども食堂などをコロナ対策に万全を期して実施します。

また、実行委員会を設けて、まちなかフェスタを10月24日(日)に開催します。

避難所運営や AED 研修実施

防災防犯部会



下司貴之部会長

今年度から防犯防災部会長をさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。時期を見ながら、例年どおり長浜市防災危機管理局を迎えて避難所運営研修(HUG)を実施します。

また、湖北地域消防本部のご協力をいただき、AED研修を行います。両研修にはコロナ対策の内容も含まれます。イベント等の開催運営に向けて、コロナ対策を万全にして行います。

対策徹底子ども食堂開催

福祉健康部会



藤川久部会長

当連合会で「ストップ! コロナ長浜まちなか緊急宣言」を行いました。コロナ禍において、感染者や家族・医療従事者等に対する偏見や差別がないよう、お互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる社会を目指すために「シトラスリボン運動」に取り組めます。

6月・7月に予定していた「子ども食堂」はコロナの影響で中止になりましたが、感染予防対策を徹底し8月から再開できるように計画しています。今後、自治会等で取組予定がありましたら、ぜひご相談ください。

「健康づくり講演会」、「話咲隊ボランティア活動・交流会」にも取り組む予定です。



えきまちテラスのデッキに花の植栽

お宝発見のリーフレット発行

文化スポーツ交流部会



吉岡寿賀夫部会長

今年度は、次の事業を計画しています。

1. グランドゴルフ大会(7月4日、バーデあざいで実施済み)
2. ソフトボール大会(9月5日(日)、長小・西中グラウンド)
3. ボーリング大会(11月21日(日)、長浜スプリングレーン)
4. 米川・かわまちづくり(米川で遊び場づくり、自然環境の再生、水質調査など)
米川まつり(8月8日(日)、曳山博物館からとんどんまでの米川一帯)
5. 長浜まちなかお宝発見事業 昨年度調査結果に基づき、地域文化財を紹介するリーフレットの発行

金屋公園プランターに花植え

快適環境部会



木下健一部会長

快適環境部会の活動は大きく3つです。

1. 花いっぱい運動(えきまちテラス前歩道橋の花壇植栽)
2. 米川かわまちづくり事業への連携参加
3. まちなかフェスタへ事業参画

その他に各種勉強会・講演会を開催したいと考えています。すでに開催した事業は、5月30日の「グリーンカーテン講座」、6月6日の「金屋公園プランター植栽」です。「グリーンカーテン講座」は、部会員の羽淵久晃さんに、「金屋公園プランター植栽」は金屋町自治会の皆さんにご協力いただきました。

小規模自治会の共助・連合自治会の効率化を目指す

昨年度、小規模自治会の共助の仕組み、連合自治会の合理化・効率化の仕組みについて検討する委員会を設け、検討結果を総会で報告、了承を得ました。その概要を紹介します。

今年度は、ステップアップして「まちなか自治連携委員会」を組織し、その具体化を目指します。



長浜地区の小規模自治会のあり方

- ◆自治会の現状
 - ・地区の人口は40年間で△36%、3分の2に減少
 - ・高齢化率40%以上の自治会が3割
 - ・30世帯未満の小規模な自治会が3分の1
- ◆自治会の課題
 - ・自治会活動の担い手が不足
 - ・役員はいても形骸化で活動できない自治会も
 - ・子ども会や老人会、婦人会がなくなり、人のつながりが弱くなる。
- ◆自治会の課題解決策の提案
 - ・小さな自治会同士が協力すれば、災害への備え、高齢者の見守りなど、共助の仕組みが可能に。
 - ・防災、河川清掃など、複数の自治会が協力して取り組めば、効果的な活動が可能に。
 - ・女性や若者、子どもたちの視点で町を考えれば、多様な人たちの参加が可能に。
- ◆具体的な仕組みの提案
 - ・複数の自治会で母体となる委員会をつくり、共同で最低限の自治活動から始め、広報紙の発行、お宝の発掘事業、花いっぱい事業などへ広げる。
 - ・複数の自治会長の中からトップを選んで、実質的な自治会長を担う。自治会の役員も共同で選ぶ。
 - ・次は委員会から「〇〇町・〇〇町自治会」にステップアップ。単位自治会・自治会長はそのまま存続。
 - ・懇親会や新年会、地蔵盆などは、これまで通り単位自治会で行う。
- ◆会費・経費の対応策の提案
 - ・自治会費、会計、財産は、単位自治会でこれまで通り存続。
 - ・共同事業の経費は、単位自治会が負担金を出し合ってまかなう。
 - ・市の補助制度、地連の補助制度を活用して財源を確保する。

長浜地区の9連合自治会のあり方

- ◆連合自治会の現状
 - ・世帯数300戸以下の連合自治会が5つ。神照や六荘地区では一つの自治会の規模と同じ。
 - ・8つの連合自治会で65歳以上が3割以上。長浜市全体で高齢化率トップクラス。
- ◆連合自治会の課題
 - ・正副会長は各町自治会長の持ち回りで、事業は前年度踏襲も。
 - ・住民と直結せず、独自の取り組み意識が薄い。
 - ・連合自治会の他に山組、商店街もあり、主たるコミュニティ組織の意識が低い。
 - ・業務は、長浜市からの依頼事項の受け皿、各自治会長との連絡・調整など。存在意義が少ない。
 - ・連合自治会長の諸会議が多く、大規模な連合自治会と同様に参加するのは不合理。
- ◆連合自治会の課題解決策の提案
 - ・9連合自治会長が担当会議を分担し、会議に参加する仕組みにすれば負担を軽減できる。
 - ・山組のある連合自治会が山組のつながりを生かして、合同で会議・調整等を行うことができる。
 - ・単位自治会の共助が進めば、複数の連合自治会が合同で会議を開くことができる。
- ◆具体的な仕組みの提案
 - ・長浜市連合自治会への参加を、9連合自治会長の代表制にする。
 - ・長浜市連合自治会と長浜市へ連合自治会改革の促進を要望する。
 - ・市の各種委員会に連合自治会長を割り当てる仕組みの再検討を要望する。
 - ・各種団体の役員を9連合自治会長の分担制とし、長浜地区の代表として会議に参加する。

連合別自治会数と世帯数(2020)

地区別	自治会数	世帯数	自治会平均世帯数
第1連合	13	738	57
第2連合	5	206	41
第3連合	10	236	24
第4連合	9	281	31
第5連合	8	614	77
第6連合	6	239	40
第7連合	10	1,123	112
第8連合	10	214	21
第9連合	8	381	48
計	79	4,032	51

シトラスリボン運動へのご協力について（お願い）



コロナ感染症の拡大に伴い、感染者や医療従事者への差別や偏見が問題となるなか、愛媛県の有志が、シトラス（かんきつ類）色のリボンを身につけ、感染しても、「ただいま」「おかえり」と安心して戻れる地域をめざそうと、“シトラスリボン運動”を提唱しています。

当連合会も、今年3月に、長浜・長浜北小学校、西・北中学校の児童・生徒、先生の皆さんに、有志で作成したシトラスリボンを謹呈するなど、この運動に取り組んでいます。また、医療従事者への支援のため、募金活動も実施しています。

コロナは、まだ予断を許さない状況にあります。5月には、「ストップ コロナ 長浜・まちなか緊急宣言」を行い、引き続いて、差別と偏見のない地域づくりと感染症予防対策に取り組んでいくことになりました。各連合自治会や自治会等でも、この運動に積極的に取り組んでいただきますよう、よろしくお願ひします。

1 感染症予防対策の徹底

- ◆3密（密閉・密集・密接）の回避、マスク着用や手洗いの励行など
- ※集会等でマスクが必要な場合はお申し出ください。ただし数は限られていますので、先着順とさせていただきます。なお、非接触型の体温計も貸し出しができます。



長浜小学校でのシトラスリボンの贈呈

2 シトラスリボン運動の推進

- ◆シトラスリボンの作成と各家庭などへの配布
- ◆募金運動（一口100円）
- ※作成の材料を用意できますので、当連合事務局へご相談ください。

今秋、長浜まちなかフェスタ開催します

長浜まちなかフェスタが10月24日(日)に長浜まちづくりセンター(さざなみタウン)と西中学校などを会場に開催される予定です。さざなみタウンでの本格的なフェスタはこれが最初。地域住民の皆さんの交流、地域づくり活動の紹介、防災や

健康・福祉、環境の学習など、いろんなコーナーを設ける予定ですが、詳細は8月から各種団体に参加していただく実行委員会で計画します。どうぞお楽しみに。



—昨年秋の西中体育館でのまちなかフェスタ

当連合会のホームページが
できました。



左のQRコード、または下記のホームページアドレスからご覧ください。

<https://sites.google.com/view/ntd-rengoukai>